

業務最適化システム拡販

日鉄ソリューションズ中部

パッケージ製品開発へ

システム開発などを手掛ける日鉄ソリューションズ中部（本社名古屋市中西区牛島町6の1、岡崎巧社長、電話052・589・5441）は、業務の最適化を支援するパッケージシステムの開発を進めている。大企業向けに手掛けてきた専用システムの開発ノウハウを結集する。2027年3月までに提供を開始し、新たな顧客層を開拓する。

（中村光希）

新たな顧客層、開拓めざす



同社のオフィス



岡崎巧社長

作業効率など顧客企業のさまざまなデータから、最適な物流や生産計画などを提案するシステムを開発している。製造工程が複雑な鉄鋼会社や大企業向けに開発してきた高度なシステムを簡素化し、汎用版として安価に提供する。開発には生成AI（人工知能）を用いる。

従業員数500人以上の中堅製造業がターゲット。月額課金制での提供を検討している。企業の特長に合わせたカスタム対応やオープン機能を用意し、多様なニーズに応える。

同社は28年3月期を最終年度とする中期経営計画で、売上高で年10%成長を掲げている。目標達成には新たなビジネスモデルへの挑戦が必要と判断。培った経験や知識をパッケージシステムとして拡販する。顧客層の拡大とともに企業価値の向上をめざす。

同社は、新日本製鉄（現日本製鉄）の情報システム部門が分社化して、1995年に設立した。従業員数は286人（24年4月時点）。

